

宝泉地区の門構えの透明水彩画を描いていることを、菱の実会日より 268 号で紹介したが、その後、長屋門・環濠のある家が結構現存していることが判り、引き続き探しながら写生画を続けている。現在、24 点の長屋門・環濠の水彩画を完成させた。

長屋門・環濠は、歴史的に地域の権力者・富豪の存在の証しだけでなく、登録有形文化財として保護されていたり、ネット検索でも探せるほど意義ある存在である。そこで、現存する物件を、水彩画で、かつての姿を想像復元して描くことに挑戦している結果を、逐次レポートする。

1 回目は右表の 3 件。一般物件は、実名は避け、町名表示にした。

1 番・沖野屋敷：数年前のウォーキングで延命寺の東隣に屋敷林と環濠のある長屋門を持った家を見つけた。今は長屋門と母屋は青トタンをかぶった良く見る屋根だが、自称萱葺き大好き画家として、今回、昔の美しい萱葺き長屋門に描いた。新田の荘の豪農の名残だと思うが、調べて無い。

2 番・由良屋敷：宝泉地区の長屋門は由良にもう一軒ある。赤石酒店の西隣のお屋敷だが、一見して、まず長屋門と気付かない。大幅に改造されている上、相当傷んでいる。そこで復元するとこんな外形だったろうと良い所取りで美しい外形に描いた。環濠は無い。

3 番・市野井屋敷：県道 2 号線から生品神社に向かって中間位の道路の西側にある。現在の長屋門は住居使用されていないが、居住の為に少なくとも二度は改築されている。最初は南側に長屋門と同じ造作で建て増してあり、そのまま描いたが、北側に二度目の造作と思われるアルミサッシのガラス戸と台所らしい小屋部分は雰囲気に合わないので、省略した。敷地内には屋敷林や孟宗竹林があり、西側に「通木(つうき)」と言う湧水があって、かつての巨石流水庭園の名残が残っており、環濠の水源でもあったか。「通木」の看板によれば、岩松氏の家臣で、15 世紀に近江の国から、ここに移り住んでいるとか。

<お願い> 探しだすのに苦労しています。長屋門の所在をご存知の方は教えて下さい。尚、私のホームページで、拡大画やその他の水彩画が見られます。是非お立寄りを。

[HTTP://homepage3.nifty.com/hosono3agora/](http://homepage3.nifty.com/hosono3agora/)

(次回に続く)

番	名称	所在地	門・濠
1	沖野屋敷	太田市沖野町	門・濠
2	由良屋敷	太田市由良町	門
3	市野井屋敷	太田市市野井町	門・濠



一番
沖野屋敷



二番
由良屋敷



三番
市野井屋敷